

科目区分	専門教育科目	授業科目名	教育実習			科目コード	24Y507	担当者	本村 弥寿子、織田 芳人、福井 昭史、中村 浩美、荒木 正平、船勢 肇、山中 慶子、三原 ミヨ子、小槻 智彩			担当形態	複数	
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	通年	単位数	5	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修			
授業形態	実習	履修条件	入学時から1年次後期末までの通算GPAが1.20未満の者は、原則として、本科目を履修することができない。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	教育実践に関する科目	
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	教育実習

授業の主題	大学で修得した内容をふまえ、幼稚園の役割や機能を観察や子どもとの関わりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、評価を経験し、教諭の業務内容や職業倫理、保護者支援について総合的に学ぶ。			課題等への対応 (フィードバックの方法等)	個別事前指導で、実習の課題を個別に添削する。また、事後指導において、実習課題の達成具合について担当教員と話し合う機会を設け、実習評価を行う。		
授業の方法	学外実習（幼稚園へ、2年次6月に2週間、10月に2週間、計4週間）			アクティブ・ラーニングの実施方法	保育現場での学習は、すべてアクティブラーニングである。		

授業計画				事前・事後学修			
<p>○学外実習へ向けての事前指導 <1年次>4月 : 実習総合指導 5~2月 : 附属幼稚園での観察・体験学習 5月 : 実習幼稚園の依頼と内諾</p> <p>○第1回教育実習 <2年次>5月 : 事前指導、オリエンテーション、保育施設長講演会 6月 : 第1回教育実習(2週間) 実習記録・実習報告書の提出、事後指導</p> <p>○第2回教育実習 <2年次>9月 : 事前指導 10月 : 第2回教育実習 実習記録・実習報告書の提出、事後指導</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・希望実習園調査 ・体験学習課題記入 ・実習園オリエンテーション報告書の作成 ・実習課題記入 ・保育施設長講演会報告書の作成 ・実習報告書の作成 ・実習課題記入 ・実習報告書の作成 			
				事前・事後学修時間	60分		

教科書 [書名/著者名/出版社]	教育・保育実習の手引き/長崎女子短期大学、学生・養成校・実習園がともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド/大豆生田啓友・澁谷行成・鈴木美枝子・田澤里喜編集/中央法規	受講生へのメッセージ	幼稚園での実習は、あなたが目指している職業観を実際に確認する機会でもあります。子どもたちや現場の先生方から多くのことを学んでください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点 学修成果の 比率(%)	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)
観点	尽心	① 学習意欲	15		5		5	5	教育実習及び事前・事後指導に真摯に取り組む、提出期限を守って課題を提出することができる。	真面目さ 自己管理能力	受講態度、提出物、実習先評価	教育実習及び事前・事後指導に真摯に取り組む、早めに課題を提出することができる。	教育実習及び事前・事後指導に真摯に取り組む、提出期限を守って課題を提出することができる。	教育実習及び事前・事後指導にある程度積極的に取り組み、提出物の遅れは3回以下である。	教育実習及び事前・事後指導にある程度積極的に取り組み、提出物の遅れは4・5回である。	教育実習及び事前・事後指導に積極的に取り組んでおらず、提出期限を5回以上遅れた。
		② 規律性	5					5	保育者としての職業倫理を理解し、実習において実践することができる。	職業倫理	実習先評価	保育者としての職業倫理を十分理解しており、常に実践することができる。	保育者としての職業倫理を十分理解しており、実践することができる。	保育者としての職業倫理をある程度理解しており、実践を心がけている。	保育者としての職業倫理をある程度理解しており、実践を心がけている。	保育者としての職業倫理が不十分で、実践することができない。
	知識・技能	③ 知識	10					10	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識を身に付ける。	専門的知識	実習先評価	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識を十分に身に付け、他者に明確に説明できる。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識を身に付け、他者に説明できる。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識をある程度身に付けている。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識をある程度身に付けている。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的知識の修得が不十分である。
		④ 技能	10					10	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルを身に付ける。	専門的スキル	実習先評価	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルを身に付け、大いに実践に活かすことができる。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルを身に付け、実践に活かすことができる。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルをある程度身に付けている。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルをある程度身に付けている。	教育実習において保育業務遂行に必要な専門的スキルの修得が不十分である。
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力	30		15			15	学外実習で学んだことや考えたことを明確にわかりやすく記述できる。	文章表現力、文章構成力	実習日誌、実習報告書	実習で学んだことや考えたこと、課題等を明確にし、誤字脱字なく的確に文章化できる。	実習で学んだことや考えたこと、課題等を、誤字脱字なく的確に文章化できる。	実習で学んだことや考えたこと、課題等を明確にし、2~3誤字脱字はあるものの、文章化できる。	実習で学んだことや考えたこと、課題等を、誤字脱字が4・5ほどあるが、文章化できる。	実習で学んだことや考えたこと、課題等が明確でなく、誤字脱字も多く、意味の通じる文章になっていない。
		⑧ コミュニケーション力	10					10	保育者としてのコミュニケーションスキルを修得し、教職員や乳幼児と適切に意思の疎通を図ることができる。	好感表現力、意思伝達力	実習先評価	教育実習において、教職員や乳幼児と適切に意思の疎通を図ることができる。	教育実習において、教職員や乳幼児と意思の疎通を図ることができる。	教育実習において、教職員や乳幼児と意思の疎通をある程度図ることができる。	教育実習において、教職員や乳幼児と意思の疎通を図ろうとする。	教育実習において、教職員や乳幼児と意思の疎通を図ることができない。
	実践	⑨ 主体性	20					10	教育実習及び事前・事後指導に目的をもって取り組み、保育実践や振り返りに主体的に取り組むことができる。	積極性、主体性、応用力	受講態度、提出物、実習先評価	教育実習及び事前・事後指導に積極的に取り組み、保育実践と振り返りに主体的に取り組むことができる。	教育実習及び事前・事後指導に積極的に取り組み、保育実践と振り返りに取り組むことができる。	教育実習及び事前・事後指導に取り組む、保育実践と振り返りに取り組むことができる。	教育実習及び事前・事後指導に取り組む、保育実践と振り返りに取り組むことができる。	教育実習及び事前・事後指導に積極性が無く、保育実践と振り返りが不十分である。
		⑩ 協働性														
合計			100		20		15	65								